



山野辺 裕二
国立成育医療センター病院 医療情報室長

【第8回】 「永久」の儚さ

Zippoというオイルライターがありますが、「ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で修理」という方針を70年貫き通しています。これを生涯保証とか永久保証と呼んでおり、返送料もメーカー負担という徹底ぶりです。

●永久保証の心意気

アドテックという会社のコンピュータ用メモリー部品も、10年以上前から「永久保証」を謳っています。故障時には無償で交換してくれるそうです。ただ、さすがにオイルライターと同じというわけにはいかず、こんな但し書きがありました。

※部材の調達事情などにより、交換用メモリーのご用意ができないことがあります。

私も同社製のメモリーを使っていましたが、それを装着したコンピュータは今年の春に役目を終えて退役してしまいました。本体の製品寿命が短いので、たとえメモリーが永久保証でもさほど意味をなさないようです。

●発掘されるカルテ

医師法では診療録に5年間の保存義務が定められています。もちろん5年前の診療録を破棄してよいというわけではなく、一連の診療が終了した後5年、つまり5年間来院がなかった方の診療録ということになります。しかし5年では短すぎると言う人がほとんどでしょう。その一方で医療機関の中には「カルテの永久保存」を標榜するところがあります。しかし私の見るところ、そう言っているのは歴史の浅い施設です。

近年、病院内で昔のカルテが「発見」されたというニュースがいくつか報道されました。九州大学病院では、建物の建て替え工事に際して昭和20年頃のカルテが発見されましたし、国立国際医療センターの倉庫からは、「スペインかぜ」が流行した大正時代の入院目録やカルテが出てきました。

しかし、これらはあくまで偶然発掘されたのであって、きちんと保管されていたわけではありません。90年前からのカルテを保管できている病院は、日本には存在しないのではないかと思います。

●電子保存への不安

このように我が国では紙カルテの百年保管が困難なのに対し、一方では「電子カルテなら永久に保存できる」と言う人もいます。まあ理屈ではそうだと思いますが、電子的記録の歴史はたかだ



10年あまり前、(デジタルでない) スチルビデオカメラというものを使っていました。画像は2インチのフロッピーディスクに「永久保存」されていますが、もはや中身を見ることはできません。UMINにはがんばってほしいものです。

か50年です。以前も少し書きましたが、磁気ディスクやCD、DVDなどのデジタル記録は紙に比べて思いのほか脆いのです。10年経つと読み出す装置が存在しなかったり、データの形式がわからないこともあります。紙ならタイムカプセルに入れて庭に埋めておけば、1000年後の解読も期待できます。電子カルテシステムの更新間隔は今のところ5~10年ですので、そのたびにデータの継代移行を正しく繰り返すことが、「永久保存」の条件なのです。

私が勤める国立成育医療センターは「生まれた人が小児期、思春期、青年期と育て次代のこどもを産み育てるという、ひとつのライフサイクル」を扱うのが使命です。その間のデータを保管するために電子カルテを動かしているのですが、病院自身はまだ3歳でしかありません。ライフサイクルが10年にも満たないコンピュータを使う苦心は、10年後、20年後と大きくなっていくことでしょう。私は幸いなことに「カルテの保存期間は？」と尋ねられたことがまだありませんが、答えに詰まってしまうそうです。立場上は胸を張って「永久」と言わねばならないのかもしれませんが。

●記憶のちから

結局のところ、手段よりも理念の継承が鍵なのかもしれません。製品の永久保証を掲げた企業がその看板を降ろしたのを、私はこれまでいくつか見てきました。意外にもその多くが、他社からの吸収や合併によるものです。

プロ野球の世界では永久欠番というものがありますが、昨年歴史を閉じた近鉄バファローズの永久欠番「1」は、現在のオリックスバファローズには継承されませんでした。しかし、最後の監督である梨田昌孝さんによる、次のような名言が伝えられています。「みんな胸を張ってプレーしろ。お前たちが付けている背番号は、すべて近鉄バファローズの永久欠番だ」

記録よりも、記憶の方が長く残る場合もあります。それを伝説と呼ぶのでしょうか。

1986年長崎大学卒業。形成外科の勤務医として九州、四国の病院に勤務後、96年長崎大学病院形成外科助手。99年に念願の医療情報部門へ転籍、2000年長崎大学病院医療情報部副部長。03-04年米国マウントサイナイメディカルセンター医療情報学研究員。05年6月より現職。専門は医療情報学と病院管理学。自称外来語研究者、医療ジャーナリズム評論家。

